

◆消費税 10%対応版：区分記載請求書を出力する為の設定方法

(画面例はすべて『PCA 商魂・商管 DX』を使用しています)

『PCA 商魂・商管 DX シリーズ』『売上・仕入じまん DX』ではリビジョン 3.00 以降、『PCA 商魂・商管 X シリーズ』『売上・仕入じまん X』ではリビジョン 5.00 以降で、2019 年 10 月 1 日からの消費税 10%改正と軽減税率制度に対応します。

ここでは、消費税 10%対応版をインストール後に区分記載請求書等保存方式に対応した請求書を出力するための設定の方法を説明しております。

【設定時期】

実際に各項目を設定するのは「区分記載請求書」となる売上傳票を入力する直前となります。

但し、「Ⅰ-1.消費税率の確認」と「Ⅱ-3.消費税関連項目の設定」に関してはインストール後すぐに設定可能です。

操作の流れ

Ⅰ. 会社基本情報の登録

1. 消費税率の確認
2. 請求書（支払明細書）の端数調整方法

Ⅱ. 商品の登録

3. 消費税関連項目の設定
4. 単価の登録

Ⅲ. 伝票入力

5. 明細欄の税率表示
6. 税区分、税種別、税率、税込区分の変更

Ⅳ. 専用帳票の税率表示

7. 軽減税率マークの出力
8. 税率別内訳の出力

Ⅴ. その他の管理資料の消費税表示

9. 明細表などの税率表示

I. 会社基本情報の登録

「前準備」－「会社基本情報の登録」を開きます。

会社基本情報の登録

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 ヘルプ

会社情報(N):

コード	0001
会社名	(株) PCA商事
フリガナ	ヒューエーショウジ
データ領域名	(株) PCA商事

更新履歴

企業情報 基本情報 桁数設定 [消費税] 項目名と敬称 伝票設定 運動入力 伝票入力制限1 伝票入力制限2 伝票No自動付番 計算式項目

消費税率(A): ① 上段には標準税率、下段には軽減税率を入力してください。軽減税率のみ入力することはできません。

実施日	税率1	税率2	税率3	税率4	税率5	税率6	税率7	税率8	税率9
<input checked="" type="checkbox"/> 1989年 4月 1日	6.0	3.0							
<input checked="" type="checkbox"/> 1992年 4月 1日	4.5	3.0							
<input checked="" type="checkbox"/> 1997年 4月 1日	5.0	5.0							
<input checked="" type="checkbox"/> 2014年 4月 1日	8.0	8.0							
<input checked="" type="checkbox"/> 2019年 10月 1日	10.0	10.0							
		8.0							

請求書（支払明細書）の端数調整方法(B)

税率別 合計

端数調整を外税額と内税額で別々に計算(C)

する しない

F1 ヘルプ F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 参照 F9 F10 F11 F12 閉じる

1. 消費税率の確認（[消費税] タブ）

「前準備」－「会社基本情報の登録」を起動し、[消費税] タブを開き、標準税率と軽減税率が正しくセットされているか確認します。

以下のようになっていれば新税率が正しくセットされています。

<input checked="" type="checkbox"/> 2014年 4月 1日	▼	8.0	8.0						
<input checked="" type="checkbox"/> 2019年 10月 1日	▼	10.0	10.0						
			8.0						

【注意】

消費税版へのアップデート前に消費税率を手入力で変更している場合等は、新税率をセットせず、変更状態のままにしていますので、新税率を手入力します。

[実施日] の空いている行に [2019 (令和 1) 年 10 月 1 日] と入力し、2 段になっている税率の上段 [標準税率] に [10.0]、下段 [軽減税率] に [8.0] と入力します。

※軽減税率を使わないお客様は下段を入力しなくても構いませんが、軽減税率だけを入力することはできません。

2. 請求書（支払明細書）の端数調整方法（〔消費税〕タブ）

軽減税率対象商品を扱わないお客様でも、消費税改正日をまたぐ請求書では旧税率 8%と新税率 10%が混在しますので〔税率別〕を選択します。

請求書（支払明細書）の端数調整方法(B)

税率別 合計

【解説】

請求書では請求期間の売上から消費税を計算することができます。そのときの小数点以下の端数処理を税率別に行うか合計で行うかを指示します。

「区分請求書等保存方式」では、税率ごとに消費税を計算する必要がありますので、「税率別」を選択します。

〔合計〕に関しては税率別計算の仕様を追加したときに、旧仕様を残すために設けた選択肢ですので軽減税率制度の実施後は選択しないでください。

※「請求書」で説明していますが、「支払明細書」も同様ですので読み替えてください。

【注意】

設定後に行う請求より反映されます。設定変更により以前と計算結果が変わる可能性があります。過去にさかのぼって再請求しないようご注意ください。

II. 商品の登録

「前準備」－「商品」－「商品の登録（個別式）」－「基本」タブを開きます。

3. 消費税関連項目の設定

各項目を設定します。

〔税区分〕

「会社基本情報の登録」の税率1～税率9から選択します。
通常は“2”を選択します。

〔売上税込区分〕

売上単価が税抜か税込かを指定します。

〔仕入税込区分〕

仕入単価が税抜か税込かを指定します。

〔売上税種別〕

売上単価の税種別を標準税率と軽減税率から選択します。

〔仕入税種別〕

仕入単価・原価の税種別を標準税率と軽減税率から選択します。

〔税種別切替〕

伝票入力時に標準税率と軽減税率の一括切り替えを許可する場合は [0:可能] を選択します。

仕庫管理	U:管理する	▼
実績管理	0:管理する	▼
税区分	2:8.0%	▼
売上税込区分	0:税抜価格	▼
仕入税込区分	0:税抜価格	▼
売上税種別	1:軽減税率	▼
仕入税種別	0:標準税率	▼
税種別切替	0:可能	▼
単価小数桁	U:整数のみ	▼
入数小数桁	0:整数のみ	▼
箱数小数桁	0:整数のみ	▼

4. 単価の登録

各単価を税抜または税込で登録します。

項目名称欄に「税抜」または「税込」を表示しています。

「在庫単価」は税抜固定です。

売上仕入税種別で軽減税率が選択されていれば「税抜※」「税込※」と表示します。

売上単価（税抜※）

標準価格	300
売価 1	285
売価 2	270
売価 3	255
売価 4	240
売価 5	225

原価（税抜） 100

仕入単価（税抜） 100

在庫単価（税抜） 100

Ⅲ. 伝票入力

「販売管理」－「売上」－「売上傳票入力」を起動します。（「売上傳票入力」画面で説明します）

5. 明細欄の税率表示

「売上傳票入力」画面の〔編集〕－〔入力項目の設定〕を開きます。

入力項目の設定

入力項目 1 (A)

- 伝区
- 売上日
- 請求日
- 伝票No
- 受注/見積No
- 伝票No2
- 先方担当者名
- 担当
- 部門
- 摘要
- プロジェクト
- 分類
- 伝票区分
- 直送先
- 商品名
- 倉庫
- 区
- 入数/箱数
- 単位
- 単価

入力項目 2 (B)

統一伝票項目の表示

- 規格・型番
- 色
- サイズ
- 売単価

計算式項目の表示

- 単材積
- 本数
- 商品項目 3
- 長さ
- 幅
- 高さ

商品名 2 の表示

商品名 2

明細に税率を表示する (G)

軽減税率を強調する (K)

原価の訂正 (L)

代入される内容 (D)

伝区	掛売
担当	主担当者
部門	主部門
商品名	前回品名
単価	前回売価
原価	仕入単価
仕入単価	計算する
入荷マーク	作成する
売単価	前回売価

運動入力 (E)

得意先コードを先に入力

受注/見積Noを先に入力

合計行の設定 (H)

総合計を表示する

表示行数 4

値引率入力の設定 (J)

値引対象明細行 1 行目から前行まで

値引商品の税率と同じ明細行を対象にする

設定(F5) 入力順(F6)... キャンセル ヘルプ(F1)

〔明細に税率を表示する〕

チェックを付けると、備考欄のそばに税率を表示します。

〔軽減税率を強調する〕

チェックを付けると、軽減税率の明細は背景を水色で表示します。

〔合計行の設定〕

伝票内に異なる税率が混在することを考慮し税率別に消費税を表示しています。複数の税率を表示したい場合は、表示行数を変更します。

軽減税率の場合は税率の右に〔※〕マークを表示します。

【参考】

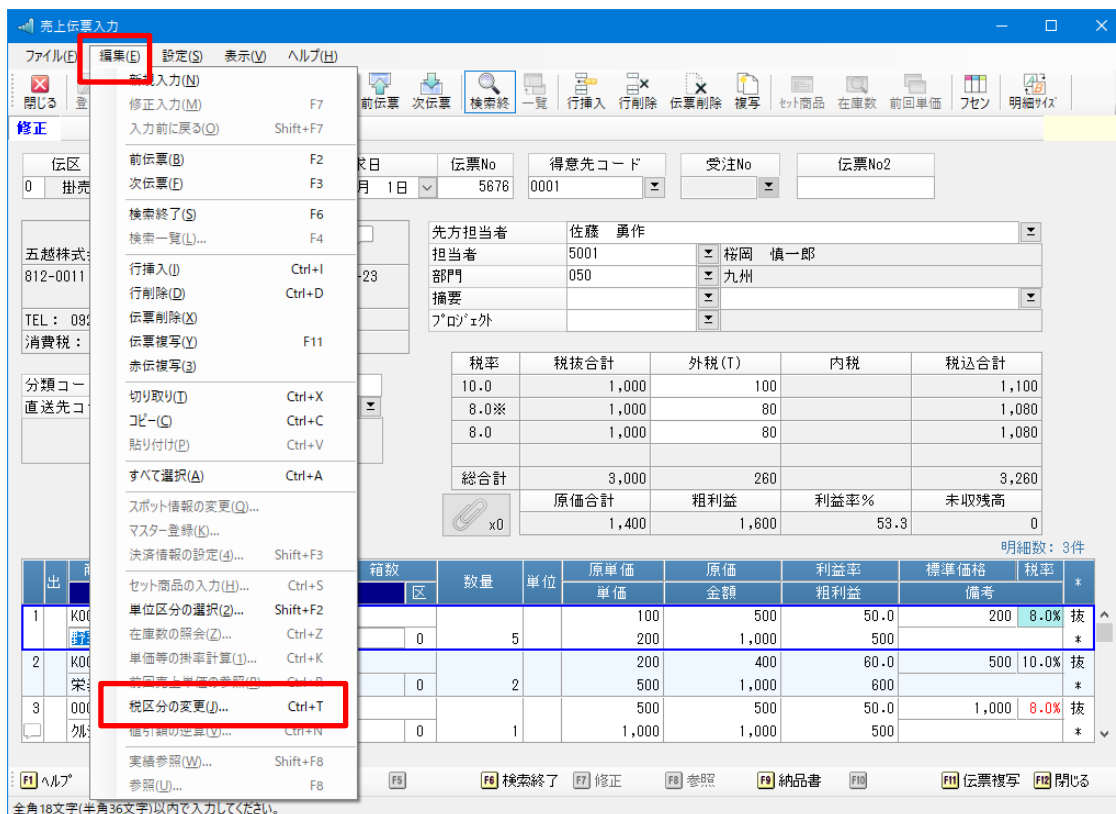
伝票日付から決定される本来の税率・税種別でないときは、税率を赤色で表示します。

経過措置により旧税率を適用したときなどが該当します。

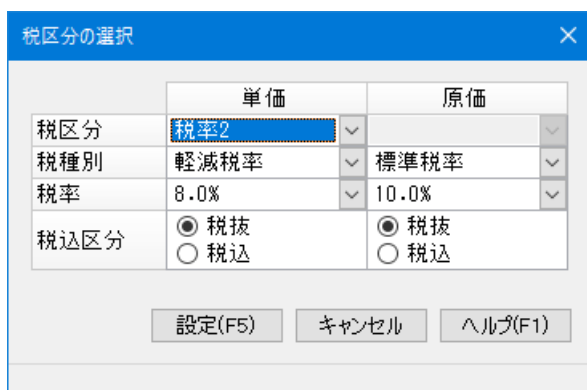
6. 税区分、税種別、税率、税込区分の変更

伝票入力中に、商品明細の〔税区分〕〔税種別〕〔税率〕〔税込区分〕を変更することができます。

- ① 「販売管理」－「売上」－「売上传票入力」を起動します。
（「売上传票入力」画面で説明します。）



- ② 明細を選択した状態で〔編集〕－〔税区分の変更〕を開きます。
〔税区分〕〔税種別〕〔税率〕〔税込区分〕の変更が可能です。



Ⅳ. 専用帳票の消費税表示

専用帳票やフリーフォーマット等での出力方法の詳細は●「消費税10%対応版のアップデート後に納品書や請求書で設定の変更は必要ですか?」をご参照ください。

7. 軽減税率マークの出力

軽減税率が適用された商品明細は、税率の右側に〔※〕マークを出力します。
元帳は今回のリビジョンで〔税率〕の出力を可能にしました。

【出力する帳票】見積書、納品書、請求書、得意先元帳、仕入伝票、支払明細書、買掛金未払金元帳

8. 税率別内訳の出力

品名欄等に、〔税率、課税対象額、消費税等〕を税率・税種別ごとに出力します。タイトルも出力しますので2行以上をを使っての出力となります。

【出力する帳票】見積書、納品書、請求書、得意先元帳、支払明細書、買掛金未払金元帳

Ⅴ. その他管理資料の消費税表示

9. 明細表などの税率表示

明細表や集計表の「条件指示」画面の〔分類項目〕で〔税率〕を選択することにより、税率ごと（税率・税種別ごと）に明細を分類して出力することができます。

また、集計表は〔別集計〕で〔税率〕を選択することにより税率別の集計値を確認することができます。

The screenshot shows two windows. On the left is the '分類項目の選択' (Classification Item Selection) dialog box. It has a table with columns '毎' (Each), '別' (Separate), and '別集計' (Separate Summary). The '別集計' column has '税率' (Tax Rate) selected. On the right is the '売上集計表 (予備1)' (Sales Summary Table) window. It shows a table with columns: '税率' (Tax Rate), '返品' (Returns), '訂正・値引' (Adjustment/Discount), '取引合計' (Transaction Total), and '消費税' (Consumption Tax). The table data is as follows:

税率	返品	訂正・値引	取引合計	消費税
(10.0%)	0	0	1,503,000	150,300
(8.0%※)	0	0	523,000	41,840
(8.0%)	0	0	702,000	56,160
期間合計	0	0	2,728,000	248,300